

東京ベートーヴェンカルテット第36回定期演奏会

36th

Beethoven Quartet, Tokyo

東京ベートーヴェンカルテット

J.Haydn

String Quartet
No.49 in D-major
op.50-6 HobIII-49
<The Frog>

ハイドン
弦楽四重奏曲 第49番
ニ長調
op.50-6 HobIII-49
「蛙」

W.A.Mozart

String Quartet
No.2 in D-major k.155

モーツァルト
弦楽四重奏曲 第2番
ニ長調 k.155

L.V.Beethoven

String Quartet
No.15 in A-minor op.132

ベートーヴェン
弦楽四重奏曲 第15番
イ短調 op.132

Takashi ORII



1st Vn
塗矢真弥



2nd Vn
入交 彩



Va
中川裕美子



Vc
奈切敏郎

2026.8.21 (FRI)

19:00 start 18:30 open

武蔵野市民文化会館小ホール

東京都武蔵野市中町3-9-11

主催 東京ベートーヴェンカルテット

共催 響の会・門下生の会

後援 日本フィルハーモニー交響楽団・日本フィルハーモニー協会

お問合せ

日本フィル・サービスセンター: TEL 03-5378-5911

響の会: TEL 03-3392-1250

全自由席 4,500円

チケット

武蔵野市民文化会館(前売りのみ) 日本フィル・サービスセンター

1971年日本フィルのチェリスト、奈切敬郎を中心に「奈切弦楽四重奏団」として結成され、演奏活動を開始。1989年100回の演奏会を機にベートーヴェン研究家の小松一郎氏を名付親に「東京ベートーヴェンカルテット」と名称を改める。東京荻窪での定期演奏会は、コロナ禍により第467回で休止せざるをえなかったが、3年ぶりに2023年2月復活し、本年7月で第490回を迎える。この間杉並区及び文化庁助成を受けて複数回の特別演奏会を行なっている。これまで東京を中心に北海道、岩手、福島、埼玉、神奈川、茨城、栃木、石川、千葉等全国各地で演奏。古典から現代曲までレパートリーは幅広く、1986年ベートーヴェン、1992年ショス

タコーヴィチ、1999年モーツァルトの弦楽四重奏曲の全曲演奏を成し遂げた。更に、各全曲演奏を取り組んでいる。東京文化会館での定期演奏会を毎年行い、好評を博す。コロナ禍で延期していた2回の定期演奏会を2022年再開し、本年第36回を迎える。NHK・FMに出演を重ねる。朝日新聞社主催「浜離宮の室内楽」に出演。今後の日本における室内楽の発展にその責務を担おうと、全国各地の室内楽を真摯に追求したいという情熱を持った演奏家の育成にも力を注ぎ、〈セレクトィヴ・アーティスト・シリーズ〉を行っている。本格的な弦楽四重奏団として注目されており、その意欲的活動と演奏は、高く評価されている。

1st Vn 塗矢真弥 Maya Nuriya

英国ABRSMより Licenciate of Royal Schools of Music 演奏家ディプロマを受ける。ヴァイオリンを広瀬八朗、海野義雄、ティボール・ヴァルガ、室内楽を青木十良の各氏に師事。スイス留学中、メニューイン等の講習を受ける。日演連およびNHKのオーディションに合格。現在は、ソロ、室内楽、オーケストラの各分野において活動している。

2nd Vn 入交 彩 Aya Irimajiri

国立音楽大学卒業。桐朋オーケストラアカデミー修了。Collegium mujikum in pommersfelden等の国内外の音楽祭に出演。ソロ活動、室内楽活動等幅広く活動。小林庸男、宮澤浩巳、松井直樹、大関博明、故滝沢達也の各氏に師事。又、ライナー・シュミットに学ぶ。後進の指導にもあたっている。

Va 中川裕美子 Yumiko Nakagawa

東京音楽大学卒業。兎束俊之、小国英雄、川崎和憲氏、ミルトン・トーマス氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ奏者。米ボストン ハーバード大学ランチタイムコンサート並びにロンジー音楽院にてリサイタル。NHK午後のリサイタルルイ・グレーラー基金 JTホールリサイタル等の基金によりリサイタル多数開催。オーケストラ、室内楽、ワークショップデザイナー等で活躍中。

Vc 奈切敏郎 Toshio Nakiri

国立音楽大学に学ぶ。11歳より長沼康光氏にチェロの手ほどきを受ける。丹野弥之助氏、菊地俊一氏、小沢弘氏、青木十良氏に師事。またダニエル・シャフラン、シュトルク・フィンケの各氏にレッスンを受ける。名ピアニスト近江康夫氏との35年に及ぶ活動で多くの名演を残している。指揮法を渡辺暁雄氏に師事。また朝比奈隆氏に多くの教えを受ける。アカデミー・ピアノ・トリオ、アンサンブル・アルス・ノヴァなどを経て、1971年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。32年間トップ・チェリストとしての重責を担う。1971年より東京ベートーヴェンカルテットを主宰、これまで全国各地で演奏会を行い、好評を博している。またNHK・FMリサイタルに数多く出演。室内楽活動、ソロ活動と共に、チェロ教育にも幅広く、意欲的に活動を展開している。1973年より重ねているリサイタルも、2020年2月東京文化会館において第15回を開催、好評を博す。2007年、36年間務めた日本フィルを定年退団。その入魂と情熱の力演は、多くの人々に感銘を与えている。また指揮活動にも本格的に取り組んでいる。
